



# 小水力発電で地域活性化めざす



## (有)石井設備サービス

専務 石井 洋志 氏(高崎支部所属)

### Q & A

#### ▼会社概要

当社は高崎市で水商売をしています(笑)。いろいろやっていますが、工場や病院・学校のトイレ・流し・配管といった給排水衛生設備工事がメインです。

二〇〇九年の十月に私が戻ってきてからは、省エネ関係の提案型工事にも取り組み始めました。

また最近では、廃水処理のコンサルティングと水処理薬品の販売が多くなってきましたが、会員でもある前橋支部所属の林牧場さんは、その関係の大事なお

お客様です。

▼小水力発電に取り組んだきっかけは？

群馬に戻ってきたものの、そう簡単に仕事を受注できるわけでもなく、自分の力で請けられるような仕事がないか模索していました。

そんな折、県の新エネルギー導入可能性調査事業(平成二十二年度、予算五十万円程度)に申し込んだところ、応募が二件だけだったこともあり、当社も採択されました。そして、いろんなところへヒヤリング調査に出掛けている中で出会ったのが、いま事務局長を仰せつかっているぐんま小水力推進協議会でした。そのメンバーに誘われたのがきっかけです。

小水力発電そのものの歴史は古く、明治時代にはすでに存在していました。もともとかなり大規模な発電所でない限り採算が合うようなものはありませんでしたが、東日本震災以降、再生可能エネルギーが急速に見直され、買い取り価格も上がったため、採算がとれ、事業性のある場所が増えました。

太陽光や風力と比べると地

味な感がありますが、小水力は安定した電源として期待されています。

ところが県内では、やれば出来るような企業も誰一人やろうとしないんです。「だったら私が挑戦しよう」と取り組みはじめてたわけです。

▼新しく会社も立ち上げました

が： たまたま協議会で知り合った方が元企業局長で、叩き上げて調査・設計から運営管理までの実務を一通り経験している数少ない技術者だったので、当社に入っていただきました。

今後は当社で調査・設計を行い、八月一日に設立した「eneco株式会社」で電力事業に取り組んでいきます。

群馬県は小水力発電のポテンシャルが全国で四位と、高いにもかかわらず、なかなか導入は進んでいません。その要因の一つに調査・設計が出来る地元企業が殆どないことがあります。これを大手コンサルに依頼すると、ビックリするような金額が提示されるため、尻込みしてしまうんですね。

そこで、うちのよう小さな組織で余分な経費をかけず調

査・設計にかかる費用を極力抑えて小水力発電所の建設まで漕ぎ着け、地域の活性化につなげたい。

そんな思いでスタートしました。

#### ▼今後の展望は？

群馬県には、「その気」になれば採算の取れる小水力発電が可能な場所は沢山あります。ただ、実際に発電所をつくって稼働させるまでには、時間のかかる流量調査や各種申請手続き、そして何より資金調達と、ハードルが沢山あるのも事実です。それを越えられるかどうかは、「その気」がどこまで「本気」かだと思います。

まずは一〇〇〜二〇〇kwの発電所で実績を重ねながら、五年後には三〇〇kwの発電所を実現させたいと考えています。

その節は、ぜひ皆さんにも出資をお願いします(笑)。



所在地／高崎市足門町693-1  
連絡先／TEL 027-372-2839  
URL／http://www.ishii-ss.net/